

安全で快適な漁業労働を実現するための研究

— 底びき網漁業における漁獲物選別作業の比較 —

水産業システム研究センター

研究の背景・目的

漁業者の高齢化や後継者不足が深刻な問題となっています。高齢者でも無理なく働けて、さらに若者が魅力を感じるような、安全で快適な労働環境を実現する必要があります。

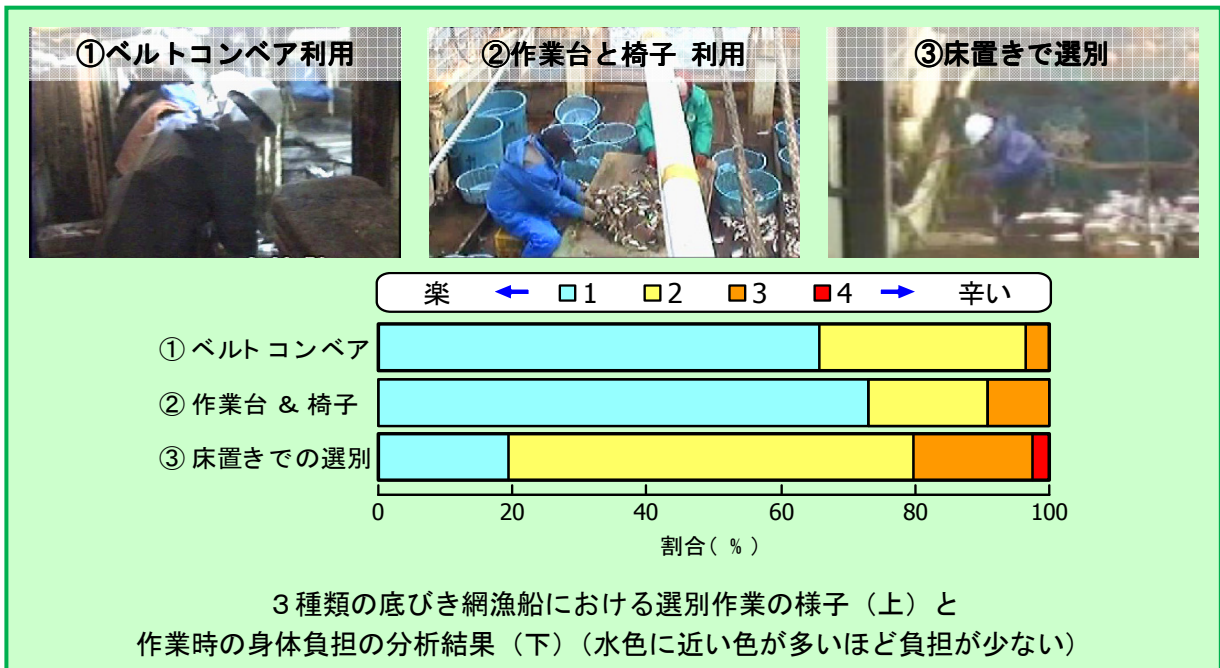
底びき網漁業では多種多様な生物が入網し、これを選別する作業が必要です。床置きでの選別作業は身体に大きな負担を与えるため、これを軽減するための工夫が必要です。

研究成果

異なる選別作業設備を持つ3種類の底びき網漁業を比較して、選別作業時の身体負担を調べました。ベルトコンベアや作業台を利用すると、作業全体のうち約7割は適切な作業姿勢になることがわかりました。一方、床置きで作業すると、適切な作業姿勢は約2割であり、非常に身体負担の大きい作業姿勢が約2割含まれることがわかりました。

波及効果

床置きでの選別作業は身体に大きな負担を与えますが、作業を支援する適切な設備を導入することで負担を軽減できます。この考え方は選別作業が必要なすべての漁業に共通します。床置きでの作業をできるだけ減らすことが、腰痛などの疾病の予防につながります。



※本研究は高崎経済大学・久宗周二教授と共同で実施しました。
（生産システム開発グループ：高橋秀行）